

令和8年度大分県公立学校教員採用選考試験 第2次試験 模擬授業 テーマ用紙（受験者用）

- このテーマ用紙に記載された内容で模擬授業を行ってください。
 ○このテーマ用紙を模擬授業の試験室に持ち込んでください。※試験当日には、配布されません。
 ○このテーマ用紙（裏面も含む）に模擬授業に関することを書き込んでも構いません。

整理番号	試験区分	教科・科目
35	高等学校教諭	理科・生物

「生物基礎」の「免疫の働き」の単元において、以下の資料に基づいて、二次応答のしくみ（免疫記憶を含む）を生徒が見いだして理解する授業をなさ

い。

なお、授業の実施に当たっては、次の4項目に留意すること。

- ① 体液性免疫（一次応答）の流れについては、前時までに学習しているものとする。
- ② 1時間の授業のうちの、導入と、展開の中心となる活動を行うこと。
- ③ 本時の目標（めあて・学習課題）は必ず板書すること。
- ④ 生徒が主体的に学ぶことを主眼に置いた授業を展開すること。

資料

① ヒトには無害な抗原（ウイルスA）を、ウイルスAに感染したことのないヒトに一定量接種した。接種後に産生されたウイルスAに対する血液中の抗体の量の指標を調べたところ、表aのようになった。なお、抗体の量の指標は、抗体の量が多くなるほど値が大きくなる。

表a

抗原の侵入からの日数	11	14	18	25
産生された抗体の量の指標	10	21	52	21

② 1回目の接種の後、6週間の間隔において、ウイルスAを再度接種した。接種後に産生されたウイルスAに対する抗体の量の指標を調べたところ、表bのようになった。

表b

抗原の侵入からの日数	0	2	4	7	9	24
産生された抗体の量の指標	28	27	610	3050	11500	5340

東京書籍「生物基礎」p133より引用